

リテール&プリンティング

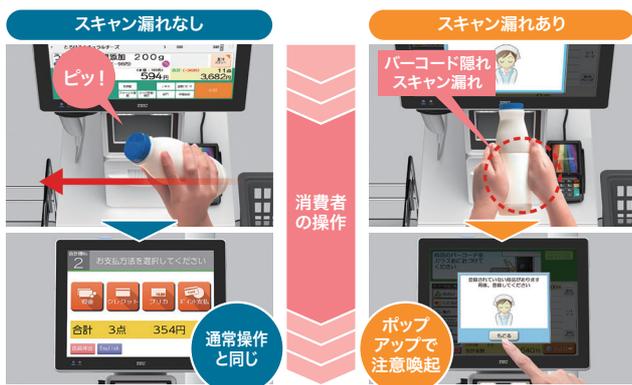
Retail and Documentation Solutions

従来の事業展開で獲得した独自技術とフィジカルアセットの活用や、顧客・開発パートナーとの共創により、変動する社会環境に合わせた製品・サービスを開発しています。消費者の多様化や作業従事者の省力化に配慮したPOS（販売時点情報管理）システムや、伝票処理を効率化する事務機器、クラウドサービス技術を活用したプリントサービスなどで、人々の生活や業務の利便性・快適性向上を支えています。

■ 商品スキャン漏れを防いでフルセルフレジ運用を支える不正検知システム



不正検知システムの構成
Fraud detection system configuration



消費者の操作とセルフレジ画面の例
Customer operation and self-checkout screen overview

東芝テック(株)

■ 多様なPOS環境に対応するレシートプリンター TR-QT3



TR-QT3
TR-QT3 next-generation receipt printer

2025年6月、量販小売店のフルセルフレジ向けに、不正検知システムをリリースした。

人件費削減に有効なフルセルフレジは、効率的な店舗運営を可能にする一方で、消費者による不正行為への対応が課題である。従来の重量チェック方式は重量確定までの待ち時間があるため、消費者の操作を妨げて生産性の低下を招いていた。

不正検知システムは、フルセルフレジ上部のカメラで撮影した消費者のレジ操作をエッジデバイスで解析し、POS（販売時点情報管理）データと照合してリアルタイムで商品スキャン漏れを検知して、音声や画面表示で消費者に注意喚起する。これにより、意図的な不正行為だけでなく、操作ミスによる商品スキャン漏れも早期に発見でき、店舗の損失防止に貢献する。また、商品スキャン漏れを検知した取引映像は関連情報とともに2週間保存し、必要に応じて確認できる。

このシステムにより、消費者を待たせない生産性の高いセルフレジ運用を実現しながら不正行為を減らし、効率的で損失の少ない店舗運営を可能にする。

2025年8月、レシートプリンター TR-QT3を製品化した。この製品は量販店・専門店・飲食店など多様なPOS環境に柔軟に対応する統合型モデルであり、従来は異なる機種を導入が必要だった様々な業態に適用できる。

TR-QT3は、最大400 mm/sの高速印字により、業界最速クラスの性能と高水準の印字品質を両立し、紙詰まり検知センサーや印字抜け通知機能を搭載したことで、店舗での運用をサポートする。筐体(きょうたい)は小型・軽量で、前排紙・上排紙の両対応や80 mm幅用紙対応により、設置環境に合わせて利用できる。標準I/F(インターフェース)には、ドロー接続とUSB(Universal Serial Bus)タイプA、Bを備えており、2026年度にWi-Fi・Ethernet・近距離無線接続に対応する拡張I/Fキットを製品化予定である。今後の製品群への展開も視野に入れて、制御基板にはRTOS(Real Time Operating System)とLinuxのデュアルコア構成を実装した。

デザインは角丸キューブ形状で視認性と操作性を追求し、メンテナンス性にも配慮した。これらの革新性が評価され、2025年度グッドデザイン賞を受賞した。

東芝テック(株)

■ 画面デザインの刷新で操作性を向上させた 量販店向けPOSシステム PrimeStore Accel



省スペース化・シンプルな操作性
Compact and ease-to-use PrimeStore Accel point-of-sale (POS) system



画面デザインの刷新・操作性の改善
Redesigned user interface and improved usability

トータルソリューションストアシステム PrimeStore の後継機種として、PrimeStore を一層加速させる PrimeStore Accel を開発し、2025 年 1 月に製品化した。

PrimeStore Accel は、画面デザイン刷新・省スペース・シンプルな操作性を重視して、以下のコンセプトで開発した。

- (1) 直観的な操作を可能にするため、シンプルで、一目で分かりやすいレイアウトフラットデザインを採用して画面デザインを刷新し、不慣れな場合も操作しやすくする。
- (2) 必要な画面に、必要な機能ボタンを配置する。
- (3) タッチパネルと画面上の機能ボタンだけで操作可能とし、キーボードレスのハードウェアに対応して省スペース化を実現する。
- (4) PrimeStore の機能を全て踏襲する。

これにより、PrimeStore の高機能性を保ちながら、キーボードのないタッチパネル操作のハードウェアの導入なども可能にして、一層幅広いニーズ・ユーザー・オペレーターに対応できるようになった。

テックインフォメーションシステムズ(株)

■ 注文とPOSをつなぐ飲食店向けモバイルオーダーシステム OtegaruOrder

リテール&プリンティング



OtegaruOrder の概要
Overview of OtegaruOrder mobile ordering system

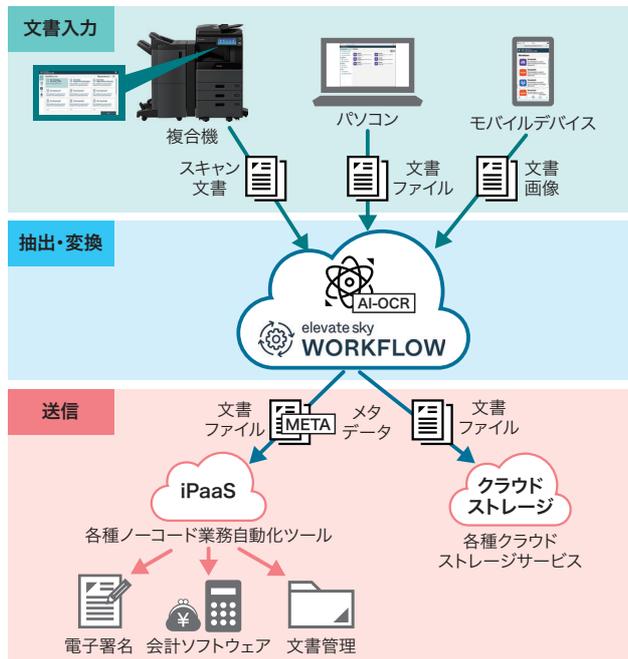
飲食業界では年々人材の確保が困難になり、スタッフの負担増が深刻化したことで、業務のデジタル化による省人化を図る店舗が増えている。このような中、2025 年 1 月に、飲食店の省人化と業務効率化を支援するモバイルオーダーシステム OtegaruOrder (おてがるオーダー) を製品化した。

OtegaruOrder は、当社のグローバルリテールプラットフォーム ELERA 上の注文連携サービス OrderLinkage (オーダーリンクージ) に接続して利用する。来店客は自身のスマートフォンで 2 次元コードを読み取り、メニューの閲覧から注文までを、店員を介さずに完結できる。注文情報は厨房機器や POS と連携され、調理指示や会計処理の精度向上に貢献する。来店客による注文と、スタッフのハンディーターミナルからの注文を合わせて、POS と連携する。月額制の契約で導入のハードルが低く、クラウドシステムの活用により、追加費用なしで常に最新機能を利用できる。

製品化後に、テイクアウト注文機能を追加した。更に使いやすくするために、画面内の広告表示やポイント提供など新たな機能の開発を進めている。

東芝テック(株)

■ クラウドベースのドキュメントワークフロー自動化ソリューション Elevate Sky Workflow



Elevate Sky Workflow の概要

Overview of Elevate Sky Workflow cloud-based document workflow automation solution

当社は、文書起点のワークフローを自動化するクラウドサービス Elevate Sky Workflow^(注)を、2025年6月にアメリカ地域でリリースした。

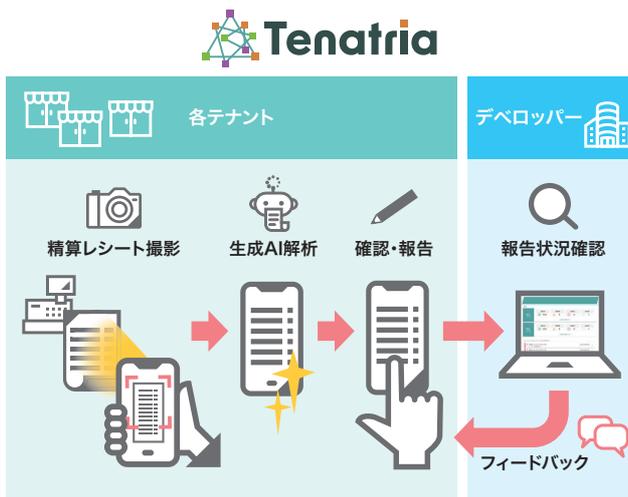
Elevate Sky Workflowは、複合機や、パソコン、モバイルデバイスなどからの文書入力に対応し、AI-OCR（光学的文字認識）によるメタデータの自動抽出や、AIによる個人情報の塗りつぶしなどの機能を備えている。また、クラウドストレージサービスへのファイル送信、及びiPaaS（Integration Platform as a Service）との連携による多様なサービスへのファイル・メタデータ送信が可能である。一般に、文書起点のワークフローでは、手作業で文書を確認してシステムに入力する。Elevate Sky Workflowの利用により、文書ファイルをアップロードするだけで必要な項目を自動で抽出・入力でき、バックオフィス業務などのワークフロー処理を省力化できる。

今後は、ワンストップでワークフローを構築する承認ワークフロー機能などを追加し、主要顧客である中小企業への普及を図る。

(注) “Elevate Sky Workflow” はアメリカ地域だけで使用している名称であり、欧州地域では使用していない。

東芝テック (株)

■ 生成AIを活用したAI-OCR 機能搭載 ショッピングセンター向けテナントサービス Tenatria



Tenatria の概要

Overview of Tenatria AI-powered optical character recognition (OCR) system for shopping centers

ショッピングセンターでは、テナントが日々の売り上げをデベロッパーに報告する必要がある。Tenatriaは、各テナントが所有するPOSの精算レシートを、スマートフォンやタブレットのカメラで撮影し、売り上げの解析や報告を行う機能を持つ。

OCR処理に生成AIを使用しているため、従来のOCRエンジンと異なり、読み取りに座標情報を必要としない。レシート中に印字されるキーワードを指定することで読み取りができるため、システムに不慣れな操作者でも簡単に設定を追加・変更可能である。更に、座標を参照しないため、印字内容が流動的に変わるレシートの読み取りも確実に対応できる。

デベロッパーはレシート画像・AIの解析結果・報告値をそれぞれ確認して、テナントによる不正報告を防止できる。また、テナントからの報告に誤りがあった場合、デベロッパーによる訂正の詳細を、テナントにフィードバックする機能があるため、デベロッパーの業務負担を大きく軽減できる。

東芝テック (株)

リテール & プリンティング